

休廃止鉱山における坑廃水処理の高度化技術調査事業

令和4年度概算要求額 1.5億円（新規）

事業の内容

事業目的・概要

- 金属鉱山等は、採掘活動終了後もカドミウム、鉛、ヒ素等の重金属による水質の汚濁、農用地の汚染等をもたらすことが少なくなく、放置すれば人の健康被害、農作物被害、漁業被害等の深刻な問題（鉱害）を引き起こすことになります。
- このため、休廃止鉱山における坑廃水の中和処理に関して、坑廃水の水量削減・水質改善や重金属除去作用を有する植物や微生物を利用した自然回帰型坑廃水浄化システム（パッシブトリートメント技術）や無給電の遠隔監視システムを組み合わせて、坑廃水処理技術の高度化を図るための実証調査を実施することにより、休廃止鉱山全体における低炭素化を推進し、もって将来的に坑廃水処理にかかる電力消費量の削減を目指します。

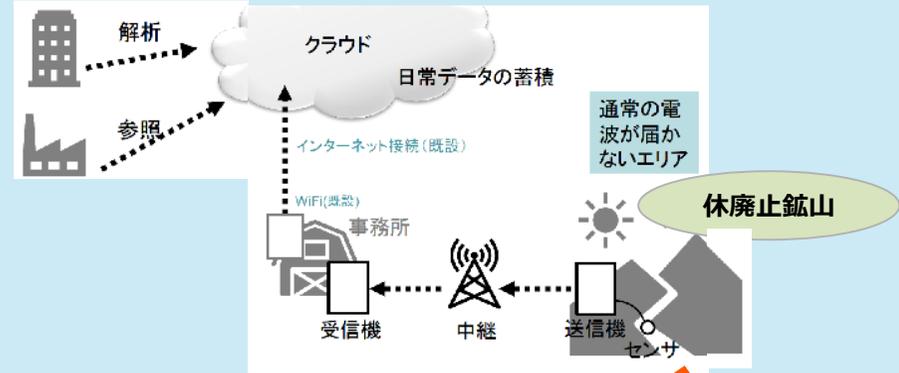
成果目標

- 令和4年から令和6年までの3年間の事業であり、最終的には坑廃水処理施設における省エネルギーの促進に資する技術の導入等を行い、休廃止鉱山における電力使用量の削減を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ



パッシブトリートメント



微生物活用型
(微生物による重金属の還元処理)



人工湿地型
(植物、微生物等を組み合わせた総合的な処理)

既存設備より電力消費量の少ない
省エネ型坑廃水処理の実現